

2010年6月28日

徳島大学長  
香川 征 殿

徳島大学教職員労働組合  
中央執行委員長 中嶋 信

## 看護師の中途退職数・夜勤日数・年休取得のデータの提供依頼

拝啓

日々、徳島大学ならびに徳島大学病院の発展にご尽力のことと拝察します。

さて、昨年9月から10月にかけて、全国大学高専教職員組合（全大教）は全国の国立大学病院に勤務する看護師を対象としたアンケート調査を実施しました。（42国立大学病院中、26が回答。）その結果、徳島大学病院は、「身体の疲れ」「精神神経的な疲れ」「仕事や生活の上でのストレス」の3項目が全国ワースト1位となるなど、労働環境の悪化が深刻化している実態が明らかとなりました。また、現場の看護師からの聞き取りでは、「新規採用の看護師が全員有期雇用となったために定着率が低いことが現場の負担増につながっている」「夜勤の平均回数が月14日に及ぶ」「年休が取得できない」との声が多く聞かれました。

私たち労働組合としましては、まずは看護師の労働環境の実態についての客観的データをもとに対応を検討したいと考えています。つきましては、看護師に関する以下のデータを提供していただきたく、お願い申し上げます。おおむね一ヶ月程度で、7月下旬ごろまでにご回答いただければ幸いです。

- 1) 2005年4月から2010年3月までの、毎年度の中途退職者の人数（有期雇用の退職者数と正規雇用の退職者数とが分かるもの）
- 2) 上記期間中の、月々の夜勤（準夜勤を含む）の平均回数（夜勤を担当していない者は除く）と、最大回数。
- 3) 上記期間中の、毎年度の年休の取得日数の平均値と最小値。

私たちとしましても、大学執行部の皆様と同様、徳島大学、ひいては徳島県の医療の発展に協力していきたいと考えております。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、よろしく願いいたします。梅雨の季節柄、ご自愛くださいますよう。

敬具